

歴史探訪

クラブ 其の174

History Inquiry Club



文化財課 ☎22-1720
(博物館) FAX 22-2028

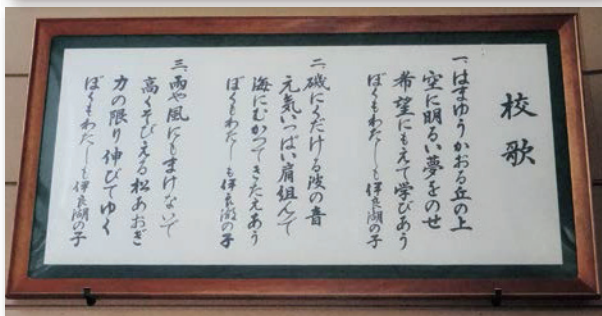
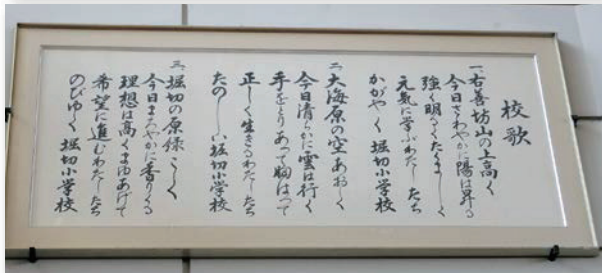
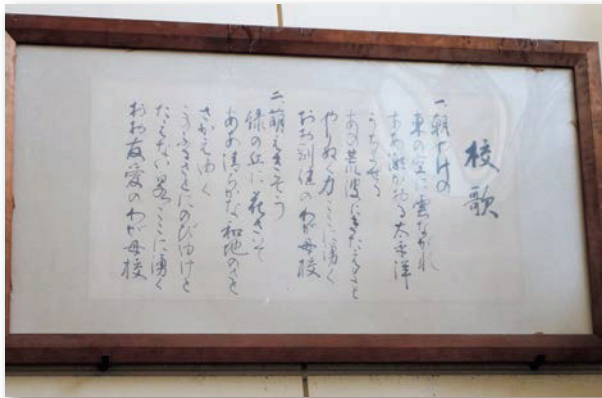
歌に残る思い出

広報たはら平成17年4月号の歴史探訪クラブでは、「田原の「ご当地ソング」は、主に踊りを伴う民謡・歌謡的な歌のほか、町制施行などの記念に制作されたものがあります」と、「田原音頭」や「赤羽根音頭」を紹介するとともに、高校や小学校の校歌に著名な文学者や作曲家が参加していることもご紹介しました。レコーディジャケットの写真にも太平洋側の海岸や三河港大橋、渡辺華山銅像などが使用されていました。

今回は、校歌について取り上げます。現在、市内のすべての学校に校歌があります。制定された時期は、早ければ、大正時代。新しいものは、和地・堀切・伊良湖小学校が統合された伊良湖岬小学校の校歌です。昨年11月に、田原市出身のジャズサクソ奏者、太田剣さん（田原市ふるさと大使）に作詞作曲をしていただきました。校歌には、校区にあるシンボリックな土地の名や自然が取り上げられることが多くあります。伊良湖岬小学校校歌では、長年植栽活動が続けられた「はまゆう」も歌詞に入

れられました。「潮騒」「荒波」など、海に関する言葉も入れられています。平成27年4月から6月に渥美郷土資料館で開催された企画展「和地・堀切・伊良湖小学校の思い出」では、三校の校歌額も展示され、閉校記念パンフレットにも校歌が載せられています。学校の閉校により、歌われなくなっても、かつての地域の姿を思い起こさせるものとして歌の記録をする必要があるでしょう。

(鈴木)



●(上から)和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校の歌額



●伊良湖岬小学校校歌に登場するはまゆう



●閉校記念パンフレット